

# たんぽぽ うしん

第41号

〔編集人〕社会福祉法人 札幌協働福祉会／アクティビティ・サポートセンター協力会 牧野 秋夫  
〒002-8071 札幌市北区あいの里 1条6丁目 1-2 TEL 011-770-5225 / FAX 011-770-5112  
HP <http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp> E-mail:info-honbu@sapporo-kyoudoufukusikai.jp  
〔発行人〕北海道障害者団体定期刊行物協会 〔発行〕2016年7月10日発行(毎月10日発行) 〔定価〕20円

## アートな時間

vol.3

### フィンランドを訪ねて ～カーリシルタとの合同展覧会を終えて～

アートセンターあいのさと 施設長 碓井 良平

風薫る五月、湖と森の国フィンランドをめざし、私たちは15日の午前11時に成田を飛び立ちました。時差が6時間あり、11時間の長い空の旅でした。

16日は案内役のお二人と、ヘルシンキ市内の観光に出掛けました。石と木と金属とで上手く築かれた街は信号やベンチ、看板、ショーウィンドウまでが上質にデザインされ、グレーな色合を引き締めて美しく爽やかな印象でした。その後、明日からオープンする展覧会場の下見へ。

17日午後2時、三々五々関係者や美術家、観客たちがギャラリーへ集い合同展の開会式です。相互にスピーチをし、荒岸氏・福恵氏が紹介され、幸せな時であったと思います。初めての海外展、堂々の作品群でした。

18日は待ちに待ったカーリシルタ学園行き。学園は森の中にありました。入ってすぐの建物が集会場。音楽、美術、スポーツごとに施設があり、どれも木造の洒落た建築で内部は明るく広い。9時から始まる朝礼は、その日の誕生日に当たる人へのお祝いの合唱から始まり、その美しい歌声は森の中へ流れて行きました。その後アートセンターの活動紹介の時間を頂き、早坂さんがパワーポイントを使って行いました。

歓迎会のあと敷地内を案内され、美術棟へ。合同で行うワークショップの時間です。予め送っておいた和紙や筆等を準備し、すでに活動に取り掛かっている生徒さんを誘い、制作を始めました。外国は合作する習慣がないようですが、両施設のアーティストたちは予想をはるかに超える積極さで、一枚一枚の半紙に描かれた作品をモザイク状につなぎ一点の大作へ、また窓辺へ張られた大画仙紙へ交互に描きあいながら大画面の完成でした。本部での合同展覧会は、いくつにも分かれた部屋の調度品にマッチさせた展示力に驚嘆しました。この他に、現代美術館鑑賞など、収穫の多い旅でした。一同を代表して、感謝申し上げます。とりわけ、2名のアーティストには良い経験であったと確信して終わります。



作品展の開会を祝うアートセンターあいのさとと出展者の皆さん  
18日ヘルシンキ



作品を鑑賞する人たちが混雑する会場



### 行事予定

《拓北・あいの里地域の行事予定》

- 7月30日(土)～31日(日) あいあい祭り 場所：医療大駐車場
- 8月6日(土)～7日(日) 拓北盆祭り 場所：拓北西公園
- 8月6日(土)～7日(日) あいの里商興会祭り 場所：東光ストア広場

《札幌協働福祉会の行事予定》

- 7月16日(土) ノーマライゼーション研究会 場所：拓北・あいの里地区センター
- 7月24日(日)～8月12日(金) 自然体験学校「おもいっきり夏休み in 北海道」 場所：仁木「山の家きょうどう」
- 8月27日(土) 第22回 収穫祭 場所：あいのさとサポートセンター特設会場

2016.5.15~22

# フィンランドに行く交流の旅



ヘルシンキ市内のギャラリーで開かれた作品展会場=5/17



カーリシルタ学園の皆さんと一緒に記念写真(左)。学園を今年で卒業する生徒さんが、きれいな歌声を訪問団に披露(右)=5/18



9か月ぶりの再会を喜ぶ皆さん。カーリシルタ学園の生徒さんたちとスポーツゲームで交流=5/18



緑に包まれたカーリシルタ本部



カーリシルタ学園で共同の作品作りに取り組む皆さん=5/20



カーリシルタ学園の朝礼に参加  
記念品のTシャツを受けとる訪問団=5/20

6/18(土)

## あいの里高等支援学校開校式

6月18日、北海道あいの里高等支援学校の開校式が行われました。校訓の「未来・チャレンジ・感謝」の意を校長先生から話され、生徒代表挨拶では第1期生としての決意をしっかりと述べていました。



校旗授与

6/11(土)

## 高岡・スウェーデンヒルズ祭

6月11日、札幌協働福祉会主催の「第16回高岡・スウェーデンヒルズ祭」が当別・高岡アクティビティーセンター(当別町)のグラウンド特設会場で開催されました。この日は会場上空にさわやかな初夏の青空が広がり絶好のお祭り日和、地元当別町の皆様方も大勢の参加を頂き、会場は歌や踊りの芸能発表で例年にも増した盛り上がりとなりました。



オープニングは「ドリームズマウンテン」の演奏



当別町宮司町長の挨拶



拓北あいの里連合町内会  
近藤会長の挨拶



協力会牧野会長の挨拶



札幌協働福祉会  
辰田理事長の挨拶



当別・高岡アクティビティーセンター  
芹田さんの開会宣言



エネルギーな「ずっこけダンサーズ」の踊り



会場内を練り歩く「さっぽろ五郎連」の踊り



「自衛隊第11旅団音楽隊」の演奏



会場内に設けられた販売コーナー

◀焼き物担当も大忙し!



「ひらぶきゆうこ」の音楽ステージ



おどけた踊りで会場内をわかせた「ひよっこ」の踊り



お楽しみ大抽選会で特賞を「ゲット」!

6/8(水)

# さわやかパークゴルフ大会

6月8日曇り、札幌協働福祉会が主催する「さわやかパークゴルフ大会」が茨戸川緑地パークゴルフ場で開かれました。

この日は時より小雨が降る生憎のコンディションでしたが、参加者139名(法人参加者は48名)は新緑に包まれたコースで芝の感触を確かめながら、和気あいあいとプレーを楽しみました。



ナイスショット!



開会式の様子



プレー開始!



## 新人職員紹介

～2016年度 その②～

前号より引き続き新人職員を紹介いたします。

- ①出身地(都道府県と市町村名) ②趣味・特技 ③好きな食べ物 ④尊敬する人 ⑤夢・目標

あいのさと アクティビティーセンター

いとう 伊藤

あいのさと アクティビティーセンター

みねの なみ 峯野 南美



- ①札幌市
- ②映画鑑賞、音楽鑑賞、歌うこと
- ③お好み焼き
- ④レオ・ヌッチ(バリトン歌手)
- ⑤余裕のある生き方をしている人



- ①札幌市
- ②読書、音楽鑑賞
- ③大学いも
- ④母 ⑤業務内容を覚え、施設での力となる様努力していきたいと考えています

あいのさと アクティビティーセンター

あべ ゆうき 阿部 侑樹

陽だまりのCoCo

はままつ ひでのり 浜松 秀則



- ①札幌市
- ②趣味：写真、音楽(作ったり、歌ったり、聴いたり)、特技：着付け
- ③海藻麺、レバ刺 ④山ロー(サカナクション) ⑤あまり人見知りしない人になりたいです



- ①夕張市
- ②クロスカントリー
- ③干し柿
- ④辰田 収
- ⑤77歳まで生きる

あいの里協働保育園

たかぎ ゆみか 高木 裕美香

相談室 キートス

まるた たかひさ 丸田 貴久



- ①当別町
- ②ピクニック、サイクリング
- ③焼きそば・ポテト・海鮮
- ④母 ⑤いつか海外に行ってみたいです。



- ①鹿児島県奄美市 ②韓流ドラマ(時代劇)観賞・野球 ③奥さんの手料理 ④長嶋茂雄 ⑤「あいの里・拓北」で、また生活できる事に嬉しく思います。自然豊かで美しい北海道。いろんな所へ行ってみたい。

# インタビュー 16 その③

NPO法人ホップ障害者地域生活支援センター 代表理事

たけだ たもつ 竹田 保氏

## 問題提起しないと社会は気づいてくれない

「竹田さんは自分たち障がい者が生活や仕事を継続するために移送やヘルパー派遣などのサービス事業を始める一方、札幌の地下鉄駅の段差解消の取り組みや車椅子での雪道デモ、DPI(障がい者インターナショナル)世界大会の札幌誘致など社会的な活動も数え切れないほど行ってきた。」

▼対外的・社会的活動を行ってきたのはなぜですか?

竹田氏 冬の雪道を車椅子が使えなければ、一人でアパートに暮らしている障がい者は、お腹が空いても食料を買いに行けない。働いて得た収入の1万円札が何枚か財布の中にあっても、100円のカップヌードルさえ買えないという現実がそこにあります。社会はそのことに気づいてくれない。問題提起していかないと解決へ向かわない、そういう苛立ちがあったのです。地下鉄の事故でも、危険があることは乗客や管理者も気づいたはず。それでも、何もしないことが許される社会なんです。それが一人の障がい者の死という結果を招いた。

雪道の問題では「あなたたちのためにお金をかけて特別に除雪できない」とできない理由を言います。除雪する価値があるのかないのか、議論して合意形成することをしない、やるせない社会だと思います。問題提起して気づく人が出てくることで少しずつ社会が変わっていくのかなと思っています。

▼日本ではDPI世界大会を札幌が初めて誘致したのですか。

竹田氏 あの時代はみんなが協力する形ができて

いて、なんでもできるような雰囲気がありました。世界大会をきっかけに、空港からホテルまでの移動をどうするかなどバリアフリーの課題が顕在化し、札幌の人たちが気づく契機にもなって、課題の解決に取り組んでいくことができました。

▼阪神淡路大震災、東日本大地震、今回の熊本地震とホップは真っ先に支援に駆けつけていますか。

竹田氏 阪神の時は、「障がい者が避難所を使えなくて移りたいが車がない。なんとかならないか」という連絡が来て、リフト車を出したのです。トイレの問題など避難所が障がい者にとっては避難所にならない現実があるのです。仕方なく体育館でトイレをする。他の避難所も最初は許容してても、次第に「なんだ」となり、障がい者が別の避難所に避難しなければならなくなる。今回の熊本でも1000人規模の避難所に仮設トイレが60カ所ほどあるのに、車椅子で入れるトイレは一つもないのです。災害時のいろんな反省が教訓として生かされてきていない。一番困るのは障がい者や高齢者です。そんなことをきっかけに、災害があると声がかかり、自分たちができる範囲で協力しようと行動してきました。 <次号に続く>

## 地域行事の紹介

### 社会福祉協議会総会・交流会開催

平成28年度拓北・あいの里地区社会福祉協議会総会・交流会が5月28日(土)、拓北・あいの里地区センターで開催されました。

昨年度の事業報告・決算と新年度の事業・予算計画が原案通り承認され、また、一部役員交代も選任されました。その後の交流会も100人を超える参加者で盛会のうちに終了しました。



若山会長の挨拶



総会終了後開かれた交流会

市内配達  
無料です!

自然志向の店 **あくていぶ**

～7月の特売品～

ムソー 国内産大麦使用

◇**麦茶** 508円→**386円**  
(10g×50袋)



大村屋 ごま屋さんが作った

◇**セサミクランチ** 310円→**256円**  
ごまキャンディー (70g×1袋)

310円→**256円**

次回のマルシェ(朝市)は  
**7/16(土) 開催予定!**

※掲載商品は、  
ほんの一部です。

「自然志向の店 あくていぶ」は障がいのある方への  
就労支援を行っているお店です。

自然志向の店  
**あくていぶ**

■営業時間 平日 10:00～17:00

■定休日 土曜・日曜・祝日

<http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp/main/>

札幌市北区あいの里3条4丁目9-1 (歩道橋すぐ横)

TEL 011-778-2377 FAX 011-778-2375

講演会  
のご案内

テーマ「あいの里高等支援学校を迎え、夢を語る」

～やさしさ、響き合う 拓北・あいの里～

日時：平成28年7月16日(土) 13:30～16:00

場所：拓北・あいの里地区センター 1階多目的ホール (札幌市北区あいの里1条6丁目1-1)

TEL 011-778-8000

参加費：資料代 500円

主催：拓北・あいの里ノーマライゼーション研究会

問合せ：たくあいアクティビティ「むう(夢)」・「ひびき(響)」 TEL 770-5520 FAX 770-5521

E-mail:info-muu@sapporo-kyoudoufukusikai.jp

- 第一部 北海道札幌あいの里高等支援学校の紹介
- 第二部 「あいの里高等支援学校に寄せる期待」
  - ①地域として 連合町内会より
  - ②福祉団体として 札幌協働福祉会より
  - ③保護者として 札幌市育成会より
- 第三部 グループ討議 「あいの里高等支援学校を迎え、夢を語る」  
コーディネーター 福井 一之



# 山の家通信



仁木町冷水峠にある保養施設  
“山の家きょうどう”からの通信を掲載  
します。



原木に植菌する  
ユウザーさん

## 山の家でしいたけの原木栽培

山の家ではしいたけの原木栽培を行っていますが、今年もミズナラの原木を100本確保し、4月に開設された就労支援事業所「陽だまりのCoCo」の施設外就労として、ユウザーさんたちがしいたけ菌を植え込みました。植菌は原木にドリルで開けた穴にしいたけ菌を入れ、金槌で軽く叩きます。そのあとは「仮伏せ」を行います。「仮伏せ」は、菌を原木に活着させ、まん延させるために行うもので、真ん中に杭を打ち、原木の細いものを内側にして50本くらいの原木を円形に木寄せします。そして、透明ビニールシートで囲い、最後に寒冷紗で覆って完成。8月上旬までこの状態を保ったあと、今度はホダ場で本伏せを行います。収穫は来年になりますが、楽しみです。



HSK **たんぽぽらいん** 第41号

◎住所変更や送付不要の方は、電話またはFAXにて下記までお知らせ下さい。

社会福祉法人 札幌協働福祉会  
アクティビティー・サポートセンター協力会  
TEL 011-770-5225  
FAX 011-770-5112 (福田、松岡)

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可 HSK通巻532号  
[発行] 2016年7月10日発行(毎月10日発行) [定価]20円  
[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会  
アクティビティー・サポートセンター協力会 牧野秋夫  
〒002-8071 札幌市北区あいの里1条6丁目1-2  
TEL 011-770-5225 / FAX 011-770-5112  
[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会 細川久美子